



ハイツール S7691A

エッチ・アンド・ケー株式会社

1/7

初版作成日：2022年08月25日
改訂日：2024年01月30日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：ハイツール S7691A

製品番号 (SDS NO) : S7691A-3

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：工業用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：エッチ・アンド・ケー株式会社

住所：東京都台東区柳橋2-19-6

担当部署：千葉工場 研究開発部

電話番号：0478-72-2231

FAX：0478-72-2619

緊急連絡先電話：担当部署と同じ

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

注意書き

安全対策

P202-全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P261-粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P271-屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

P264-取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

P280-保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

P314-気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

P342 + P311-呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。

P304 + P340-吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P303 + P361 + P353-皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

P333 + P313-皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

P305 + P351 + P338-眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313-眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

P301 + P310-飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。

P301 + P330 + P331-飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

P410 + P403-日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

廃棄

P501-内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
シリコーン	非公開	60	非公開
結晶質シリカ	非公開	40	1-548

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

結晶質シリカ

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

結晶質シリカ

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

P314-気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

P304 + P340-空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。

P342 + P311-呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

P303 + P361 + P353-直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

P333 + P313-皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

P305 + P351 + P338-水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313-眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

P301 + P330 + P331-口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。

負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

P370 + P378-火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

消防を行う者への勧告

消防活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

P280A-保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消防活動の際は、その蒸気や分解ガス(NOx)に対する防護のため、自給式呼吸用具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

P261-粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

P210-熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

安全取扱注意事項

P271-屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

P280A-保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

P262-眼、皮膚、衣類につけないこと。

P264-取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

P362 + P364-汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

P233-容器を密閉しておくこと。

P401-国際/国/地方の規則に従って保管すること。

P410 + P403-日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

(結晶質シリカ)

日本産衛学会(2006)(吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m³

(結晶質シリカ)

日本産衛学会(2006)(吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m³

(結晶質シリカ)

ACGIH(2010) TWA: 0.025mg/m³(R) (肺線維症; 肺がん)

(結晶質シリカ)

ACGIH(2010) TWA: 0.025mg/m³(R) (肺線維症; 肺がん)

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

排気/換気設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

P284M-換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : ペースト状

色 : 白色

臭い : 無臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点 : >250

自然発火点 : >400°C

分解温度データなし

pH : 7

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

密度及び/又は相対密度 : 1.4g/cm³(25°C)

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性 : 適用外

その他のデータ

蒸発速度データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

約150°C以上で酸化分解により少量のホルムアルデヒドを発生する恐れがある。

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[会社固有データ]

LD50:>2000mg/kg

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[会社固有データ]

LD50:>2000mg/kg

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[会社固有データ]

ウサギ:刺激しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[会社固有データ]

ウサギ:刺激しない

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[成分データ]

[会社固有データ]

モルモット;ビューラー法 感作性なし(経皮)

生殖細胞変異原性

[成分データ]

[会社固有データ]

(結晶質シリカ)

cat. 2; SIDS, 2013

発がん性

[成分データ]

[会社固有データ]

(結晶質シリカ)

cat. 1A; IARC Gr. 1 (IARC 100C, 2012 et al.)

本製品は液状のため、結晶質シリカは吸引性の粉塵にはなりません。

従って、通常の使用方法においては結晶質シリカの有害性を受けることはないとおもわれます。

[IARC]

(結晶質シリカ)

Group 1 : ヒトに対して発がん性がある

(結晶質シリカ)

Group 1 : ヒトに対して発がん性がある

[ACGIH]

(結晶質シリカ)

A2(2010) : ヒト発がん性の疑いがある

A2(2010) : ヒト発がん性の疑いがある

[日本産衛学会]

(結晶質シリカ)

第1群:ヒトに対して発がん性があると判断できる物質

第1群:ヒトに対して発がん性があると判断できる物質

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[会社固有データ]

(結晶質シリカ)

甲殻類 (オオミジンコ)LL50 > 10000mg/L (SIDS, 2013)

水溶解度

(結晶質シリカ)
溶けない (ICSC, 1997)
(結晶質シリカ)
溶けない (ICSC, 2010)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

P501-内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし
MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害でない物質(OS類)
結晶質シリカ; 結晶質シリカ
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

結晶質シリカ(別表第9の165の2); 結晶質シリカ(別表第9の165の2)

名称通知危険/有害物

結晶質シリカ(別表第9の165の2); 結晶質シリカ(別表第9の165の2)

がん原性がある物(規則第577条の2第5項)

結晶質シリカ

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

指定可燃物

合成樹脂類_その他のもの(酸素指数 26未満のもの)(数量 3,000kg)

適用法規情報

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の第16項 キヤッヂオール規制対象製品

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

原料メーカー-SDS

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によつて改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。